

2022 年 4 月 (No.sh0377)

サントリーホール サマーフェスティバル 2022 開催

2022 年 8 月 21 日(日)～8 月 28 日(日)



クラングフォルム・ウィーン
©Tina Herzl



イザベル・ムンドリー
©Astrid Ackermann



小野田健太

ホール開館以来、日本の現代音楽界を牽引するサマーフェスティバル クラングフォルム・ウィーンとイザベル・ムンドリーを招聘

サントリーホールは、**2022年8月21日(日)～8月28日(日)**の期間に、「サントリーホール サマーフェスティバル 2022」を開催します。1987年の開催以来、音楽の“現在(いま)”を紹介する、東京の現代音楽の祭典として、最前線で活躍する世界各国の音楽家たちがサントリーホールに集まり、ユニークかつチャレンジ精神にあふれる音楽を発信しています。

1. ザ・プロデューサー・シリーズ クラングフォルム・ウィーンがひらく

その年毎のプロデューサーが独自の視点で現代音楽を切り取り、作品を紹介するシリーズ。昨年に引き続き海外からのプロデューサーとして、クラシック音楽の中心ウィーンを拠点に音楽の「現在(いま)」を紹介し続ける**現代音楽のスペシャリスト集団としてグローバルに活躍するクラングフォルム・ウィーン(KFW)**を招聘します。生誕 100 年のメモリアルイヤーとなるクセナキスや武満徹などの音楽界の巨匠からイヴィチュエヴィチや塚本瑛子などの旬の作曲家を取り上げ、多彩なプログラムで現代音楽の歴史と未来を紹介します。

2. テーマ作曲家 イザベル・ムンドリー サントリーホール国際作曲委嘱シリーズ No. 44

世界の第一線で活躍する作曲家に管弦楽作品を委嘱し多角的に紹介します。コロナ禍による 2020 年夏の来日予定から 2 年の時を経て、満を持して**イザベル・ムンドリー(1963～)**が登場。作曲家として最先端を走ってきた**ムンドリーの作品を、管弦楽、室内楽それぞれのプログラム**で紹介します。その他、若手作曲家の作品を公募しクリニックする**作曲ワークショップ**は、ムンドリーの音楽との向き合い方を垣間見ることが出来る貴重な機会となります。

3. 第 32 回芥川也寸志サントリー作曲賞選考演奏会

前年(1月～12月)に国内外で初演された日本人新進作曲家の管弦楽作品から3曲を演奏会で再演。その中から、もっとも清新かつ将来性に富む作品 1 曲を公開で選考し贈賞します。選考委員の酒井健治、福士則夫、山根明季子による第一次選考を経て、**大畑真、根岸宏輔、波立裕矢**の3作品がノミネートされています。第30回受賞者の**小野田健太**の委嘱作品の初演もあわせて行います。近年好評の聴衆による投票、**SFA総選挙**も実施します。また、候補作品演奏と選考会の様子は、有料のオンライン配信(ライブのみ)でもお楽しみいただけます。

[チケットのお申し込み・お問合せ]

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB <http://suntoryhall.pia.jp/>

サントリーホールチケットセンター TEL 0570-55-0017 (10～18 時、休館日を除く)

サントリーホール サマーフェスティバル 2022
SUNTORY HALL SUMMER FESTIVAL 2022

◆ザ・プロデューサー・シリーズ クラングフォルム・ウィーンがひらく
The Producer Series KLANGFORUM WIEN

◎大アンサンブル・プログラム

- 時代の開拓者たち -

Large Ensemble Program -Pioneers toward the Future-

【日時】 2022 年 8 月 22 日 (月) 19:00 開演 (18:20 開場) Monday, August 22, 2022 at 19:00 (Doors open 18:20)

【会場】 大ホール Main Hall

【曲目】

ヨハネス・マリア・シュタウト (1974～) : 『革命よ、聴くんだ (ほら、仲間だろ)』
アンサンブルのための (2021) [日本初演]

Johannes Maria Staud: *Listen, Revolution (We're buddies, see →) for Ensemble* [Japanese Premiere]

ミレラ・イヴィチュェヴィチ (1980～) : 『サブソニカリー・ユアーズ』アンサンブルのための (2021)
[日本初演]

Mirela Ivičević: *Subsonically Yours... for Ensemble* [Japanese Premiere]

塚本瑛子 (1986～) : 『輪 策 赤 紅、車輪』大アンサンブルのための (2017) [日本初演]

Eiko Tsukamoto: *rad rat rot red, räder* for Large Ensemble [Japanese Premiere]

※曲名について仕様上の制約でルビが入れない場合は、

『輪策赤紅、車輪 (ラート ラート ロート レッド、レーダー)』

武満 徹 (1930～96) : 『トゥリー・ライン』室内オーケストラのための (1988)

Toru Takemitsu: *Tree Line* for Chamber Orchestra

ゲオルク・フリードリヒ・ハース (1953～) : 『ああ、たとえ私が叫ぼうとも、誰が聞いて
くれよう…』打楽器とアンサンブルのための (1999)
[日本初演]

Georg Friedrich Haas: *Wer, wenn ich schrie, hörte mich...* for Percussion and Ensemble [Japanese Premiere]

【出演】 指揮 : エミリオ・ポマリコ Emilio Pomarico, Conductor

クラングフォルム・ウィーン Klangforum Wien

ほか etc.

【チケット料金】 S 席 4,000 円 A 席 3,000 円 B 席 2,000 円 学生 1,000 円

S ¥4,000 A ¥3,000 B ¥2,000 Student ¥1,000

◎室内楽プログラム「ウィーンの現代音楽逍遙」 (第 1 夜)

- クラングフォルムの Family Tree -

Chamber Music I -Family Tree of Klangforum-

【日時】 2022 年 8 月 23 日 (火) 19:00 開演 (18:20 開場) Tuesday, August 23, 2022 at 19:00 (Doors open 18:20)

【会場】 ブルーローズ (小ホール) Blue Rose (Small Hall)

【曲目】

サルヴァトーレ・シャリーノ (1947～) : 『アジタート・カンタービレ―距離に関する
カプリッチョ』 ソロ・ホルンのための (2020)
[日本初演]

Salvatore Sciarrino: *Agitato cantabile – Capriccio sulla lontananza* for Horn Solo [Japanese Premiere]

レベッカ・サンダース (1967～) : 『行ったり来たり』 ヴァイオリンとオーボエのための (2010)

Rebecca Saunders: *To and Fro* for Violin and Oboe

オルガ・ノイヴィルト (1968～) : 『夜と氷のなかで』 ファゴットとアコーディオンのための
(2006/07)

Olga Neuwirth: *In Nacht und Eis* for Bassoon and Accordion

ゲオルク・フリードリヒ・ハース (1953～) : 『ひとつから三つを』 フルート、クラリネット、
打楽器、ピアノ、ヴァイオリン、チェロのための
(2001)

Georg Friedrich Haas: *tria ex uno* for Flute, Clarinet, Percussion, Piano, Violin and Cello

エンノ・ポッペ (1969～) : 『トラウベン』 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための (2004～05)

Enno Poppe: *Trauben* for Violin, Cello and Piano

フリードリヒ・チェルハ (1926～) : 『4 つのパラフレーズ』 オーボエ、チェロ、ピアノのための (2011)

Friedrich Cerha: *4 Paraphrasen* for Oboe, Cello and Piano

ジョルジュ・アペルギス (1945～) : 『夜のない日』 ソロ・コントラフォルテのための (2020)

Georges Aperghis: *Tag ohne Nacht* for Contraforte Solo

ベルンハルト・ラング (1957～) : 『シュリフト 3』 ソロ・アコーディオンのための (1997)

Bernhard Lang: *Schrift 3* for Accordion Solo

ベアート・フラー (1954～) : ピアノ四重奏曲 (2019)

Beat Furrer: Piano Quartet

【出演】 クラングフォルム・ウィーン メンバー Members of Klangforum Wien

【チケット料金】 指定席一般 3,000 円 学生 1,000 円 Reserved Seating ¥3,000 Student ¥1,000

◎室内楽プログラム「ウィーンの現代音楽逍遥」(第2夜)

- ウィーンは常動する -

Chamber Music II -Das neue Wien-

【日時】 2022 年 8 月 25 日 (木) 19:00 開演 (18:20 開場)

Thursday, August 25, 2022 at 19:00 (Doors open 18:20)

【会場】 ブルーローズ (小ホール) Blue Rose (Small Hall)

【曲目】

ヨハン・シュトラウス II 世 (1825～99) / シェーンベルク 編曲 : 『皇帝円舞曲』 作品 437
(室内アンサンブル用編曲)
(1889/1925)

Johann Strauss Jr. (arr. Arnold Schoenberg): *Kaiser-Walzer*, Op. 437 (arr. for Chamber Ensemble)

アントン・ヴェーベルン (1883～1945) : 室内オーケストラのための 6 つの小品 作品 6 (1909/20)

Anton Webern: *Six Pieces* for Chamber Orchestra, Op. 6

アルバン・ベルク (1885～1935) / ワーヘナール編曲 : 『アルテンベルク歌曲集』 作品 4
(室内アンサンブル用編曲) (1912/85)

Alban Berg (arr. Diderik Wagenaar): *Altenberg Lieder*, Op. 4 (arr. for Chamber Ensemble)

アルノルト・シェーンベルク (1874～1951) : 5 つの管弦楽曲 作品 16 (室内オーケストラ用編曲)

(1909/20)

Arnold Schoenberg: Five Pieces for Orchestra, Op. 16 (arr. for Chamber Orchestra)

グスタフ・マーラー (1860~1911) / グラール 編曲: 『子供の不思議な角笛』より「番兵の夜の歌」
(室内アンサンブル用編曲) (1892/2022)
[日本初演]

Gustav Mahler (arr. Trevor Grahl): "Der Schildwache Nachtlid" from *Des Knaben Wunderhorn*
(arr. for Chamber Ensemble) [Japanese Premiere]

グスタフ・マーラー (1860~1911) / ティドロウ 編曲: 『子供の不思議な角笛』より
「この世の生活」
(室内アンサンブル用編曲)
(1892~93/2022) [日本初演]

Gustav Mahler (arr. Thierry Tidrow): "Das irdische Leben" from *Des Knaben Wunderhorn*
(arr. for Chamber Ensemble) [Japanese Premiere]

グスタフ・マーラー (1860~1911) / ティドロウ 編曲: 『子供の不思議な角笛』より
「塔の中の囚人の歌」
(室内アンサンブル用編曲)
(1898/2022) [日本初演]

Gustav Mahler (arr. Thierry Tidrow): "Lied des Verfolgten im Turm" from *Des Knaben Wunderhorn*
(arr. for Chamber Ensemble) [Japanese Premiere]

【出演】指揮: エミリオ・ポマリコ Emilio Pomàrico, Conductor
クラングフォルム・ウィーンメンバー Members of Klangforum Wien
ほか etc.

【チケット料金】指定席一般 3,000 円 学生 1,000 円 Reserved Seating ¥3,000 Student ¥1,000

◎クセナキス 100% (クセナキス生誕 100 周年プログラム)

Program for Xenakis 100th Anniversary

【日時】2022 年 8 月 26 日 (金) 19:00 開演 (18:20 開場) Friday, August 26, 2022 at 19:00 (Doors open 18:20)

【会場】大ホール Main Hall

【曲目】

ヤニス・クセナキス (1922~2001) : 『ペルセファッサ』6 人の打楽器奏者のための (1969) *
Iannis Xenakis: *Persephassa* for Six Percussionists
ヤニス・クセナキス: バレエ音楽『クラネルグ』オーケストラとテープのための (1969)
Iannis Xenakis: *Kraanerg* Ballet Music for Orchestra and Tape

【出演】クラングフォルム・ウィーン Klangforum Wien

指揮: エミリオ・ポマリコ Emilio Pomàrico, Conductor

打楽器: イサオ・ナカムラ / 神田佳子 / クラングフォルム・ウィーンメンバー ほか*

Isao Nakamura / Yoshiko Kanda / Members of Klangforum Wien etc., Percussion

【チケット料金】S 席 5,000 円 A 席 4,000 円 B 席 3,000 円 学生 2,000 円
S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥3,000 Student ¥2,000

◆テーマ作曲家 イザベル・ムンドリー

Theme Composer ISABEL MUNDURY

サントリーホール国際作曲委嘱シリーズ No. 44 (監修：細川俊夫)

Suntory Hall International Program for Music Composition No. 44

(Artistic Director: Toshio Hosokawa)

◎作曲ワークショップ (スコア公募方式による)

Music Composition Workshop (Call for Scores within Japan)

(日本語通訳付)

【日時】 2022 年 8 月 21 日 (日) 14:00 開始 (13:20 開場)

Sunday, August 21, 2022 at 14:00 (Doors open 13:20)

【会場】 ブルーローズ (小ホール) Blue Rose (Small Hall)

【内容】 14:00

第一部 イザベル・ムンドリー×細川俊夫 トーク・セッション

Part 1 Isabel Mundry×Toshio Hosokawa Talk Session

15:30 (予定)

第二部 若手作曲家からの公募作品クリニック／実演付き (Call for Scores)

Part 2 Workshop by Call for Scores

【出演】 レクチャー：イザベル・ムンドリー／細川俊夫 Isabel Mundry / Toshio Hosokawa, Lecture

【チケット料金】 聴講券 [自由席] 一般 1,000 円 学生 500 円 Non-Reserved Seating ¥1,000 Student ¥500

【作品公募 Call for Scores】 イザベル・ムンドリーが、若い作曲家の室内楽作品をクリニックします。
応募詳細はこちら

https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/SSF22_callforscores_compressed.pdf

募集要項

提出書類：①作品のスコアおよびパート譜一式 ②応募申請書

※①、②共に PDF 推奨

作品の編成：

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、クラリネット、フルートを使ったソロ、デュオ、トリオのいずれかの編成。

※スコア、パート譜は作曲家自身の責任において作成されたものに限りません。

※既存／新作を問いません。

※楽器の重複は不可とします。

※楽譜に使用する言語は、通常の音楽用語、記号のほかは、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語のいずれかをご使用ください。

作品の長さ：10 分以内

応募者の資格：日本在住、年齢 35 歳以下 (2022 年 8 月 21 日時点) に限る。国籍不問。

※8 月 21 日開催のワークショップへの参加が必須です。(交通費支給※上限あり)

応募締め切り：2022 年 5 月 31 日 (火) 23 時 59 分まで

応募方法：下記メールアドレスへ①と②をお送りください。

また、応募メールの件名は「作曲ワークショップ (氏名)」とご記入ください。

選考結果通知：採用された方へのみメールにてご連絡いたします。

お問い合わせおよび応募先：

東京コンサーツ サマーフェスティバル事務局 summerfes@tokyo-concerts.co.jp

※応募の際、記載いただきました個人情報は、目的以外では使用いたしません。

◎室内楽ポートレート（室内楽作品集）

Chamber Music Portrait

【日時】 2022 年 8 月 24 日（水） 19:00 開演（18:20 開場）

Wednesday, August 24, 2022 at 19:00 (Doors open 18:20)

【会場】 ブルーローズ（小ホール） Blue Rose (Small Hall)

【曲目】

イザベル・ムンドリー（1963～）：

Isabel Mundry:

『時の名残り』クラリネット、アコーディオン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのための（2000）
Traces des moments for Clarinet, Accordion, Violin, Viola and Cello

クラリネット：上田 希 Nozomi Ueda, Clarinet

アコーディオン：大田智美 Tomomi Ota, Accordion

ヴァイオリン：成田達輝 Tatsuki Narita, Violin

ヴィオラ：安達真理 Mari Adachi, Viola

チェロ：山澤 慧 Kei Yamazawa, Cello

『誰？』フランツ・カフカ断章 ソプラノとピアノのための（2004）
„Wer?“ nach Fragmenten von Franz Kafka for Soprano and Piano

ソプラノ：太田真紀 Maki Ota, Soprano

ピアノ：大宅さおり Saori Oya, Piano

『リエゾン』クラリネット、ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための（2007～09）
Liaison for Clarinet, Violin, Cello and Piano

クラリネット：上田 希 Nozomi Ueda, Clarinet

ヴァイオリン：成田達輝 Tatsuki Narita, Violin

チェロ：山澤 慧 Kei Yamazawa, Cello

ピアノ：大宅さおり Saori Oya, Piano

『バランス』ソロ・ヴァイオリンのための（2006）
Balancen for Violin Solo

ヴァイオリン：成田達輝 Tatsuki Narita, Violin

『いくつもの音響、いくつもの考古学』バセット・ホルン、チェロ、ピアノのための（2017／18）
Sounds, Archeologies for Bassett-Horn, Cello and Piano

バセット・ホルン：上田 希 Nozomi Ueda, Bassett-Horn

チェロ：山澤 慧 Kei Yamazawa, Cello

ピアノ：大宅さおり Saori Oya, Piano

【チケット料金】 指定席一般 3,000 円 学生 1,000 円 Reserved Seat ¥3,000 Student ¥1,000

◎オーケストラ・ポートレート（委嘱新作初演演奏会）

Orchestra Portrait (Commissioned Work Program)

【日時】2022 年 8 月 28 日（日）15:00 開演（14:20 開場） Sunday, August 28, 2022 at 15:00 (Doors open 14:20)

【会場】大ホール Main Hall

【曲目】

イザベル・ムンドリー（1963～）：『終わりなき堆積』室内オーケストラのための（2018/19）

Isabel Mundry: *Endless Sediments* for Chamber Orchestra

クロード・ドビュッシー（1862～1918）：舞踊詩『遊戯』オーケストラのための（1912～13）

Claude Debussy: *Jeux poème dansé* for Orchestra

フィリップ・クリストフ・マイヤー（1995～）：『Dear Haunting』オーケストラのための（2020）
[世界初演]

Philipp Christoph Mayer: *Dear Haunting* for Orchestra [World Premiere]

イザベル・ムンドリー：『身ぶり』ヴィオラとオーケストラのための（2022）＊

[世界初演 サントリーホール、バイエルン放送／musica viva 共同委嘱]

Isabel Mundry: *Gesture* for Viola and Orchestra [World Premiere, co-commissioned by Suntory Hall and Bayerischer Rundfunk/musica viva]

【出演】ヴィオラ：ニルス・メンケマイヤー ＊ Nils Mönkemeyer, Viola

指揮：ミハエル・ヴェンデベルク Michael Wendeberg, Conductor

東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

【チケット料金】 S 席 4,000 円 A 席 3,000 円 B 席 2,000 円 学生 1,000 円

S ¥4,000 A ¥3,000 B ¥2,000 Student ¥1,000

◆第 32 回芥川也寸志サントリー作曲賞選考演奏会

The 32nd Competition of Yasushi Akutagawa Suntory Award for Music Composition

【日時】2022 年 8 月 27 日（土）15:00 開演（14:20 開場） Saturday, August 27, 2022 at 15:00 (Doors open 14:20)

【会場】大ホール Main Hall

【曲目】

第 30 回芥川也寸志サントリー作曲賞受賞記念サントリー芸術財団委嘱作品

小野田健太（1996～）：2 台のピアノとオーケストラのための新作（2021～22） [世界初演]

Kenta Onoda: *New Work for Two Pianos and Orchestra* [World Premiere, commissioned by Suntory Foundation for the Arts]

ピアノ：秋山友貴／山中惇史 Tomoki Akiyama / Atsushi Yamanaka, Piano

第 32 回芥川也寸志サントリー作曲賞候補作品（50 音順／曲順未定）

大畑 眞（1993～）：『ジंक』（2021）

Makoto Ohata: *JINK*

根岸宏輔（1998～）：『雲隠れにし 夜半の月影』オーケストラのための（2020）

Kohsuke Negishi: *Moonlight Hidden in the Clouds* for Orchestra

波立裕矢 (1995～) : 『失われたイノセンスを追う。Ⅱ』 オーケストラのための (2020～21)

Yuya Haryu: *A Lost Innocence Chase II* for Orchestra

【出演】指揮：杉山洋一 Yoichi Sugiyama, Conductor

新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic

候補作品演奏の後、公開選考会 (司会：沼野雄司) Open Screening (Yuji Numano, MC)

選考委員 (50 音順) : 酒井健治／福士則夫／山根明季子

Kenji Sakai / Norio Fukushi / Akiko Yamane, Jury

【SFA 総選挙～あなたの清き、耳の一票を】

選考演奏会を会場で聴いて、気に入った曲に投票していただきます。

観客による総選挙の結果は、作曲賞決定後に発表します。

【チケット料金】前売 一般 2,000 円 学生 1,000 円

当日窓口 一般 2,500 円 学生 1,500 円

有料オンライン (ライブ) 配信視聴券 1,000 円

視聴券一般発売：7 月 29 日 (金) ～8 月 27 日 (土) 16:00 (開演 1 時間後) まで

視聴券取り扱い：デジタルサントリーホール (サントリーホール・メンバーズ・
クラブ WEB／チケットぴあ)

【チケット発売】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売：2022 年 5 月 10 日 (火) 10 時～16 日 (月)

※ 先行期間中は窓口での販売はございません。

一般発売：5 月 17 日 (火) 10 時～

＜特別企画チケット＞

サマーフェスティバル全公演セット券 20,000 円 (限定 50 セット)

8 月 21 日～28 日開催『サントリーホール サマーフェスティバル 2022』全公演入場券

★セットで買うと 5,000 円もお得！ (大ホール S 席／ブルーローズ 前方中央寄りの良席)

●2022 年 5 月 10 日 (火) 10:00～ 一般発売開始

【特別企画チケット取り扱い】サントリーホールチケットセンター電話 (0570-55-0017)、窓口のみ

※1 回のお申込みにつき 1 セットまで。

【チケット取り扱い】

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00～18:00、休館日を除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB <http://suntoryhall.pia.jp/>

(登録料・会費無料、座席選択可能)

サントリーホールチケットセンター窓口：10:00～18:00、休館日を除く

※18:00 以降開演の公演がある場合は開演時刻まで営業いたします。

東京コンサーツ <http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS> (座席選択可能)

0120-240-540 (カンフェティチケットセンター、平日 10:00～18:00)

チケットぴあ t.pia.jp

イープラス eplus.jp

※学生券はサントリーホールチケットセンター (WEB・電話・窓口) のみ取り扱い。

25 歳以下、来場時に学生証提示要。お一人様 1 枚限り。

【主催】 サントリーホール

【制作協力】 東京コンサーツ

【後援】 オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム東京（ザ・プロデューサー・シリーズ公演のみ）

ドイツ連邦共和国大使館（テーマ作曲家公演のみ）

【協力（芥川也寸志サントリー作曲賞選考演奏会のみ）】 （一社）日本作曲家協議会

（一社）日本音楽著作権協会

（特非）日本現代音楽協会

◆サントリーホール サマーフェスティバル特集ページはこちらをご覧ください。

<https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/feature/summer2022/>

【プロフィール】

■クラングフォルム・ウィーン Klangforum Wien

柔軟な思考、名人芸、的確な聴覚。クラングフォルム・ウィーン（KFW）は、国際的に最も名高い現代音楽専門アンサンブルの一つとして、芸術的解釈と体験的空間の拡大に力を注いでいる。KFW の公演は、最良の意味でのイベントである。直接的であり、逃れることのできない感覚的な体験を提供するからだ。そして、その音楽の新しさは、語り、実行し、魅惑することにある。1985 年にベアート・フラーによって設立されて以来、このアンサンブルは多数の賞を授与され、今日まで音楽の歴史を刻んできた。4 大陸の作曲家による約 600 作品の初演、90 を超える広範なディスコグラフィ、主要なコンサート・ホールやオペラ・ハウスだけでなく、熱心な若手による公演やヨーロッパ、アメリカ、アジアの著名な音楽祭への出演など、その活動は多岐にわたる。トップクラスの作曲家たちとの互いに充実したコラボレーションにおいては、長年にわたって深い芸術的な友情を育んできた。2009 年からは、グラーツ音楽大学で教授活動の一環として、次世代を担う学生たちに表現法や演奏技術などを幅広く指導している。KFW は、オーストラリア、ブルガリア、ドイツ、フィンランド、フランス、ギリシャ、イタリア、オーストリア、スウェーデン、スイス、アメリカ出身の 23 人の音楽家で構成されている。18/19 シーズンの初めには、シルヴァン・カンブルランの後任として、バス・ウィーヘルスが首席客演指揮者に就任した。20 年 1 月 1 日より、ペーター・パウル・カインラートが同アンサンブルの新しい芸術監督を務めている。

■作曲：イザベル・ムンドリー Isabel Mundry, Composer

「作曲とは、区切り区切られる多層的な時間（長さに関わりなく）を、音というかたちでつかまえることである」——イザベル・ムンドリーは、視覚芸術や文学といった多様な分野に好奇心を向けることによって、20 世紀後半から数々の作曲家が関心を寄せてきた音楽と時間・空間の関係を作品ごとに捉えなおし、聴くとは何か、音楽とは何かをめぐる思索を重ねてきた。ドイツ哲学の伝統を彷彿とさせる、その透徹した知性が生み出す音楽は、聴体験そのものの在り方を映し出す鏡のごとく、澄明で清冽な響きにあふれている。

1963 年 4 月 20 日、ヘッセン州のシュルヒテルンに生まれ、まもなくベルリンに移ったムンドリーは、ピアノに続いて 17 歳で作曲を始めた。83 年から 91 年までベルリン芸術大学で、フランク・ミヒャエル・バイヤーとゲスタ・ノイヴィルトに師事。85 年からはベルリン工科大学電子音楽スタジオ、フランクフルト音楽・舞台芸術大学およびフライブルク音楽大学で、電子音楽を学んだ。ベルリン工科大学では音楽学をカール・ダールハウスに師事、芸術史、哲学の教養も蓄えた。SWR 実験スタジオでの研修を経て、86～93 年にベルリンのシュパンダウ教会音楽学校で音楽理論と分析を教え、91～93 年にはベルリン芸術大学でも作曲と音楽分析を担当、91～94 年にはフランクフルト音楽・舞台芸術大学でハンス・ツェンダーに師事した。「作品 1」ともいうべき弦楽四重奏のための『11 の線』（91～92）は、『線、線描画』（99/2004）、『線描画』（06）へと発展した。92～94 年にはパリ国際芸術都市、次いで IRCAM の奨学金を得てパリに滞在、IRCAM で 1 年間の研修を受ける。94～96 年にウィーンで活動したあと、96 年にフランクフルト音楽・舞台芸術大学作曲科教授に就任。2004 年にはチューリヒ芸術大学作曲科教授に就任し、翌 05 年にはベルリン・ドイツ・オペラで初演されたムジークテアター『ひとつの息——オデュッセイア』が、『オペルンヴェルト』の年間最優秀初演作品に選ばれた。11 年からミュンヘン音楽・演劇大学教授を務める。

近年では時間・空間にとどまらず、歴史、自己と他者、身体といったさまざまな概念に着目し、それらをめぐる思考を音楽化している。たとえば、デュファイの音楽の響きのみならず、その創作原理をも再構成しようとした『デュファイ編曲集』（03～04）、西田幾多郎の同名の論考に触発されて作曲されたピアノ協奏曲『私と汝』（08）、「想像上の舞踊」として構想された管弦楽のための連作『モーションズ//二重の眼差し I-VII』（14/18）などである。

注目すべきは、こうした理知的なアプローチが、他分野における出会いや巡り合わせをつねに源としていること、具体と抽象の間の往還がそのまま作品へと結実していることである。多和田葉子に詩を依頼した『顔』（1997）、南禅寺の庭園から受けた感銘に由来する『時の名残り』（2000）、パチンコ台を楽器として用い、旅行者用レビューサイトの引用をテキストに含む『イム・ファル』（17）などに、ムンドリーの柔軟な発想が表れている。

1997年に秋吉台国際20世紀音楽セミナー&フェスティバルに招かれて以降、ダルムシュタット国際現代音楽夏期講習など世界各国のセミナーで教え、エルンスト・フォン・ジーメンス音楽財団奨励賞（2001）、ハイデルベルク女性芸術家賞（11）など数多の賞を得る。ルツェルン音楽祭（03）、マンハイム国立劇場（04）、シュターツカペレ・ドレスデン（07、同楽団では初）のコンポーザー・イン・レジデンスに選任された。20年に予定されていた、SWR シュヴェツィンゲン音楽祭でのミュージクテアター『ジャングルにて』の世界初演は、コロナ禍により23年5月に延期された。作品はすべてブライトコプフ&ヘルテルから出版されている。

■作曲：小野田健太 Kenta Onoda, Composer

1996年福井県生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程修了。第86回日本音楽コンクール作曲部門入選、第30回芥川也寸志サントリー作曲賞受賞。2018年度明治安田クオリティオブライフ文化財団奨励学生、20年度福島育英会奨励学生、21年度ローム ミュージック ファンデーション奨励学生。現在、パリ国立高等音楽院作曲科第一課程に在学。

■作曲：大畑 眞 Makoto Ohata, Composer

1993年6月21日宮城県（登米市）生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科を首席で卒業、卒業時にアカンサス音楽賞を受賞。現在、同大学院音楽研究科2年次に在学中。令和元年度東京藝術大学宮田亮平奨学金奨励学生、令和2年度長谷川良夫賞受賞。これまでに作曲を鈴木静哉、小鍛冶邦隆、望月京に師事。

■作曲：根岸宏輔 Kohsuke Negishi, Composer

1998年6月7日埼玉県生まれ。第37回現音作曲新人賞（あわせて聴衆賞）、第31回朝日作曲賞（合唱組曲）、2021年度武満徹作曲賞第1位を受賞。日本大学芸術学部音楽学科作曲・理論コース（作曲）を卒業後、現在は同大学大学院修士課程に在籍し、伊藤弘之に作曲を師事している。

■作曲：波立裕矢 Yuya Haryu, Composer

1995年8月17日茨城県生まれ、千葉県育ち。2018年愛知県立芸術大学卒業、21年東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻修了。第35回現音作曲新人賞受賞、第89回日本音楽コンクール作曲部門第1位。これまでに作曲を鈴木純明、小崎光洋、山本裕之、久留智之に師事。作曲の会「たんぽぽ」共同代表。